起因物、事故の型：開口部 - 墜落・転落の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	16～17	厩舎2階でバケツ受け入れ作業中、バケツを落とす穴から落下した。	50	70101	10～29
1	3～4	荷物を下ろしている作業中に、11tトラックの荷台とセンター内のが高さが合わないため、コンパネと鉄板を何枚か合わせて降ろしていたが、コンパネと壁の間隙間に足を落としてしまい、バランスを崩して左足首に全体重がかかる状況になってしまい、足首を骨折した。	41	40301	100～299
1	13～14	当組合より借り受けている倉庫（2番倉庫）の中2階部において、被災労働者が商品の検数（棚卸）中、中2階部の開口部（開口部には手すり等の安全対策がない）より、誤って1階部に転落してしまった。その際に胸部・腰部・頭部を強打し、頭部より若干の出血もみられた。	64	170209	10～29
1	18～19	倉庫内作業場でピッキング作業をしている際、荷物をピックするためにバース付近に行き、パレットにある荷物の番号札を覗いて確認したところ、バースより転落し負傷した。	46	170101	100～299
1	10～11	本船に乗船し、ラッシング資材の準備の為、エスケープハッチを下りた。ツインデッキのエスケープハッチ付近まで行き資材の確認作業中に転落防止の支柱を握り損ねバランスを崩し、船底に転落して負傷した。	49	50202	10～29
1	14～15	浄水場送水ポンプ電気室内の配線シャフト（EPS）内で、工事前の事前調査（電気ケーブルの布設状況、防火区画のアスベスト対象箇所）の確認作業を行おうとした時、配線シャフト（EPS）の開口に気づかず5m下中間階へ落下し、脊髄・腰部を受傷し手術を受けた。	21	170209	1000～9999
1	14～	生コン車に乗る時に移動中、足を滑らせて2m位の堀穴に滑って転んで落	78	40301	1～9

	15	下した。			
1	14～ 15	ピットにて軽トラックのファントバンパーを取り替している時に足をすべらせ落下した（深さ約1.5m）。	24	11701	10～ 29
1	8～9	搬入、上部に仕上げながら配管ルート等を追っていた。身体の向きを変えて1、2歩進んだ時、コンパネがズレており開口部が開いている場所に右足を踏入れ、身体のバランスを崩して開口部の内側側面に右脛をぶつけ、身体ごと前方に倒れ、右脛を粉碎骨折した。	62	30302	—
1	16～ 17	材料倉庫で伝票を確認しながら材料を出庫していた時、手に持っていた伝票に意識が集中していた為、足元の注意を怠り、1.1mの高さから倉庫より地面へ落下した。当初は右肩打撲の診断であったが、後日に右肩腱板断裂で全治6ヶ月と診断された。	59	170209	—
1	14～ 15	倉庫内、クレーン清掃作業中に、倉庫内ホーム高さ約1.3m位から、当日は雨がふっていたため足元が悪く、すべって後ろ向きに転落し、腰を強打し、第一腰椎等圧迫骨折、全治3ヶ月程度のケガを負った。	67	170101	1～9
1	13～ 14	市場にてコンテナ貨物の積荷（玉葱：1ケース約20kg×250ケース）を卸すため、木製パレットを積み重ね（地上高約140cm）、それを足場として荷卸しすることにした。コンテナから荷物を取り出し、パレットに積んでいた時にバランスを崩し、足場としていた木製パレットの上から転落し、左肩及び左側頭部を地面に打ちつけ負傷した。	64	40301	50～ 99
1	14～ 15	送水管布設工事現場で、長さ6m・幅1.5m・深さ1.9m程掘削し、アルミ矢板を建て込む作業を行っていたが、アルミ矢板の押さえ金具がH鋼に挟まっていた。バールを使用して押さえ金具を取り外そうとした時に、バランスを崩して掘削した穴に落下し、左足を負傷した。	40	30110	1～9
1	15～ 16	水道工事の現場において、警備員AはトラックBを車両Cの方向へバック誘導をトラックB車両の右側後方より行い、車両C方向に誘導中、足を滑らせ掘削中の穴に転落した。	68	170201	30～ 49
		マンション建設工事現場にて掘削際に置いてあった道路標示板を左手で			

2	8~9	取り出そうとしたところ、誤ってバランスを崩し建設中の基礎杭の鉄筋の上に落下し負傷した。	68	170201	—
2	9~10	当社で製造した軽量鋼製パネルと受入先に納品し、荷降し場所の確認の為段差のある幅40cm、高さ75cmの布基礎コンクリート上部を歩行中にその段差に足を取られ、深さ75cmの設備用配管ピットに転落し被災した。尚、被災時はヘルメットを着用していた。	21	11209	—
2	19~20	アパート付近の道路で、調査業務のため道路を歩行中、外灯等がない暗い環境の下、道路橋の開梁に気付かず足を踏み外し、水路に落下した。落下に伴い、左足膝と右胸肋骨を打撲し、右手に擦り傷を負った。その結果、右胸肋骨を最低3本骨折した。	64	90109	100 ~ 299
2	16~17	作業小屋解体工事において小屋2階部分の床を解体工事中、建物の梁に足をかけて作業していたところ足を踏み外してしまい、作業部分に転落した。自力で動けなかったことから救急車を呼び病院に搬送された。左足大腿部を負傷、骨折と診断された。なお、アルミの足場を敷いてから作業するようにと元請事業所から指示を受けていた。	30	30209	1~9
2	9~10	店の裏にある高さ3m位の物置に器を取りに上がり両手に抱えて下りようとした時、バランスを崩し落下する。	44	140201	1~9
2	15~16	スキー講習中斜面下方向に一般スキーヤーが転倒していたため避けたところに大きな段差があり、落下し、着地した際、腰を負傷した。	63	40301	—
2	11~12	被災者は、サイディング工事を行っていた。サイディング作業の邪魔になると考え、現場南東の足場一層目内側作業床（幅200mm）を外し作業を行った。その後、一旦上層の足場に移動し再び一層目足場に降りようと、昇降階段から一層目作業床に降りて身体を反転させた時、内側足場板を外していたことを忘れてしまい、誤って足場と躯体間の隙間に墜落し負傷した。（高さ約2.5m）	39	30202	—
		社員4名と共に現場に入り、各機器に分散し被災者は5-A返送汚泥流入可動堰開閉器架台上で、開閉器スピンドルカバーに文字を記入している時に曇りから小雨となった。昼食の時間となったため、他の社員と共に仕			

2	12~13	事を中断し、開閉器架台上から後側にある点検用の開口部に設置してある合成木材製蓋の2枚の内1枚の上に降りた際、蓋が良く閉まっていなかったのか、その1枚と共に約7m下のコンクリート地下面に落下し、全身を打撲し、事故から約1時間後に救急搬送したが、同日死亡した。	57	30302	1~9
2	9~10	倉庫屋上に干していた魚の干物をカゴに入れて両手で持って昇降機に乗ろうとしたところ昇降機が下に降りていたため、地上（リフトの上）に転落した。	69	80209	1~9
3	20~21	工場内にある紙製品の在庫倉庫内で在庫確認作業中に足を滑らせて転落した。そこは中2階での作業で高さは2mほどあり、落下時に左手首を骨折し、頭部と顔部を強打し歯が折れ、唇を切った。	32	10701	30~ 49
3	11~12	倉庫2Fにて垂直搬送機防護柵固定棒設置作業を2名で開始し、垂直搬送機の非常停止ボタンを押してローラーコンベア上にて固定棒を設置しようとしたが、寸法が合わず作業を中止した。共同作業者と固定棒を持ちローラーコンベア上からフロア上に移動しようと、後方を良く確認せず移動した際、開口部に気が付かず転落した。	39	50101	100 ~ 299
3	13~14	コンパネを敷いて歩行者誘導を行っていたところ、自転車が2台向かってきたので慌てて対応しようとした時に、足を滑らせ掘削した穴に転落して負傷した。	63	170201	50~ 99
3	9~10	新築工事現場に於いて、2階の床貼り作業中、材料搬入用の開口部付近の床貼りをしていた時、足を滑らせ開口部から1階地面に落下（高さ3m程）した際、着地地面に強打し負傷した。	21	30202	1~9
3	15~16	10号機の型替えを行っている際、型取付ゲージの調整を相方が指導に来たので場所を譲ろうと一歩下がったところ、足場がなくピット内（高さ約2.7メートル）に落下した。	27	170101	300 ~ 499
3	10~11	ロックン10号機の型替えを2名の共同作業で行っている際、型取付ゲージの調整を相方が指導に来たので本人は1歩さがって作業場所を譲ろうとした時、足場のない部分よりピット内（高さ約2.7メートル）に落下した。	27	10805	50~ 99

3	14~15	作業場と車を接続する場所である荷車バースにて、車の荷台の中で作業を終え、ホーム（作業場）へ移動する際に車とホームの間に20cm位のすき間があり、そのすき間に右足を落とし、股関節と腰骨を強打した。その後、激しい腰痛が生じて救急搬送され、権幕炎を起こしていることが分かった。	53	40301	100 ～ 299
3	15~16	中庭の外部窓ガラス清掃のため、2階廊下で室内側から身を乗り出して、窓外側の窓枠下の雨で濡れていた面台に両足を乗せたとき誤って滑ってしまい、1階に墜落し負傷した。	30	150101	10～ 29
3	8~9	鉄筋コンクリート造3階建ての3階で、解体及び解体材搬出作業を行っていたところ、解体材を肩にかついで移動した際に、コンクリートスラブの開口を塞いでいた鉄板の上を歩き、鉄板が重さに耐えられず抜けてしまい、2階スラブへ落下し（高さ3.2m）、腰を強打してしまった。	23	30201	10～ 29
4	10～ 11	缶瓶ラインで空瓶供給作業中、積み上げたパレットシートが満杯になったため、フォークリフトで排出してもらおうと置場の囲い柵（地上約2.9メートル）を開けたところバランスを崩し、開けた柵につかまったが反動でそのまま落下した。	25	10106	100 ～ 299
4	14～ 15	木造住宅解体工事現場において、手渡しでの内部解体中に、被災者は指示の無い雨どいを撤去する為に単独で屋根に上がり、旧光窓部分（トタン貼り）を踏み抜いて4m下の土間へ落下した。朝のミーティングの中で職長より口頭で注意喚起されていた場所であった。	26	30309	1～9
4	11～ 12	工場内に於いて、場内の整理作業中、資機材を置いてある棚の上部（高さ4m、広さ4m×1.5m）に梯子を上ってワイヤーを取りに行った際、棚の上に置いてあった工具（電動ホイスト）に左足がつまずいて落下し、棚の下に置いてあったドラム缶に右足が当たり、ロールベンダー（鉄板加工機械）に顔面を打ち付け負傷した。	49	11702	1～9
4	13～ 14	新築工事現場にて、洗面場の手洗いせっけんを補充するため現場内歩行中、開口部に気付かず落下し、自力で這い上がりしゃがみ込んでいるところを発見された。	67	170201	10～ 29

5	10～ 11	被災者（以下「甲」という）は、派遣先において、商品の入出庫業務に従事中、バース上でパレットに積まれた入荷商品のラップを剥がす作業中に、引っ掛かったラップを強く引っ張ったところ、バランスを崩して転倒しそうになり、バースを踏み外して転落し（1m）、左半身を強打して負傷した。原因は、甲の不注意によるものである。	35	170101	50～ 99
5	10～ 11	被災者（以下「甲」という）は、派遣先において、商品の入出庫業務に従事中、バース上でパレットに積まれた入荷商品のラップを剥がす作業中に、引っ掛かったラップを強く引っ張ったところ、バランスを崩して転倒しそうになり、バースを踏み外して転落し（1m）、左半身を強打して負傷した。原因は、甲の不注意によるものである。	35	50101	100 ～ 299
5	7～8	本社ビル1階裏にある樹木数本の剪定作業の一環として、作業前の樹木の写真を撮ろうとしてバックし、誤って火災発生時に使用する脱出口から足を踏み外し地下1階に転落し、複数箇所を骨折した。	51	150101	1～9
5	11～ 12	病院のMRI室改修工事の為、室内シールド撤去を目的に入室した際、突然床が崩れ、床に肩を強打した。	51	30209	1～9
5	10～ 11	廃油回収業務のため、廃油の吸引作業を開始し、油量を確認するため、車両後部にあるハシゴを上り、タンク側面の足場を左へ体を横移動したところ左足を滑らせ、左胸を車体左側面に打ちつけ、両膝を擦りむいた。その後も仕事を継続していたところ、痛みが強くなってきた。	59	150101	100 ～ 299
5	15～ 16	工場内倉庫で、床の補修作業中、床を塞ぐため床穴の上に仮止め溶接した鉄板を敷いたが、固定前に鉄板の上に乗る、鉄板が折れ床下に足元から落下し、鉄板の角に頭と首を打ち裂傷した。	23	30301	10～ 29
5	12～ 13	市場西冷蔵庫棟中2階に設置してあるユニットクーラーの寸法測定を行っていた際、寸法測定終了後、写真を撮っていた際に開口部に落下し、左腕を床に打ちつけ骨折した。	28	11301	50～ 99
5	12～	尿溜槽において、開口部表示がされている養生材（コンパネ、外れ止め処置済）を誤って開けてしまい、尿溜槽内へ落下した。尿溜槽内へ約50	72	30201	30～

	13	cm程度水が溜まっていたため大事には至らなかったが、落下した際に両肘について10針程度縫う外傷を負った。			49
6	9～ 10	プラットホーム内で、不燃ゴミ・大型ゴミ受入ホッパに自転車を投入する際、受入ホッパ車輪止めの上に乗し、手袋の手首開口部を開放状態にしたまま作業を行ったため、自転車のハンドルが手袋の手首開口部に引っ掛かり、バランスを崩して受入ホッパに転落した。	65	170209	50～ 99
6	16～ 17	工事現場において、工事作業に支障となる左岸側の支障木を根元からチェーンソーで伐採作業中、指示を出していた被災者の方に倒れて来そうになったため避けようとして、誤って後方にある護岸陥没箇所に転落し、左足首付近を骨折した。	54	30107	1～9
6	16～ 17	ボイラー前、幅770mmの歩廊上で、作業場確保の為、銅管を運搬移動中、ボイラー前の開口落下防止用単管パイプに足を引っ掛けて滑落した。その際、右臼蓋部骨折、右膝・右足首靭帯、右手外側を損傷した。	48	30201	300 ～ 499
6	12～ 13	トラックの積み荷搬入作業中、荷台に乗り荷物を手前まで持っていったところ、足場があると見誤って、荷物を持ったまま受け身がとれず、1m位のトラックの荷台から落下した。	39	40201	10～ 29
6	22～ 23	閉店作業中、清掃のため蓋が開いていたグリストの所で、上を見ながら他の作業をしていて通りかかり、落下してしまい、脇腹と右足を負傷した。	60	140201	10～ 29
6	16～ 17	当社工場内において、ラックをよじ登り、2段目に置いてある出庫品の防炎シートを取り終え、ラックを下りようとした際に誤って転落し打ち負傷した。	55	11702	10～ 29
6	16～ 17	個人宅新築現場にて、木造建築現場の2階床開口部に2mの足場板を2枚平行にかけて、吹き付け断熱工事（熱絶縁工事）の削り作業において、足場板を固定せず使用していたため足場板が外れ、また落下防止ネットを未設置であったために、1階床に転落し、腰を強打して動けなくなった。その後、救急車で搬送された。	44	30202	10～ 29

6	9~ 10	船を接岸するため、船上で係留索を陸上作業員へ渡す作業中、体勢を崩して船倉内（約6m）底へ転落し、負傷した。当時の天候は曇り、南東の風、風力1、波高0.3mで海上は平穏だった。	56	30209	1~9
6	11~ 12	倉庫内にて、地上4mの高さにある固定ラックで荷役作業をしていた時にバランスを崩し、固定ラックから足を踏み外してしまい落下し、積み上げられていた別の荷物（高さ2.5m程度）に衝突し、勢いが止まらず、そのままコンクリート地面に全身を叩きつけられ、負傷した。	63	40301	10~ 29
7	8~9	作業現場において、大型バキューム車積載の泥を泥ピットにおろすため、車体後方を泥ピット側面につけ、車体後方のバルブを開け足場に戻ったところ足を滑らせ泥ピットに落下しそうになったため右手で車体をつかもうとしたところつかみきれずに右肩を脱臼し、さらに泥ピットに落下してしまい、その際に左足踵を骨折したもの。	42	150102	1~9
7	9~10	文化会館3階備品倉庫にて、備品貸し出しのため、倉庫内の長机（折り畳み式）を移動しようとした際、長机が倒れ右足に当たり、甲部分に受傷したもの。	41	30209	50~ 99
7	8~9	お客様宅付近の路上にて引っ越し作業中、足を滑らせて約1.6m下の水路に落下し、左半身を痛めた。	36	40301	1~9
7	17~18	弊社工場のプラットホームにてカーゴテナーを移動させようとした際、ホームとの段差に気付かず足を踏みはずし地面に転落してしまった。	52	80209	100 ~ 299
7	11~12	工場改修工事においてハト小屋にサッシを取り付けるための下地胴縁取付作業を行っていた。屋根の上にはかつて小屋があって、今回の工事ではそれを解体し天井材の上にベニヤと青シートを敷いて雨養生をした。事故当日、朝の作業指示、打ち合せにて、胴縁取付作業には安全帯を使用するように指示した。作業中は安全帯を内側の足場にかけて作業していた。移動時、安全帯のフックを掛けかえようとした際つまずいてふらつき、バランスを崩して開口部から転落した。	55	30209	1~9
		住宅建設現場にて、床材（約15~20kg）を2Fから3Fへ持ち上げる際、足			

7	16~17	を踏みはずし（建物からの墜落）、2Fから約2.6m下へ落下し、胸椎を骨折した。暑かったため、ヘルメットは着用しておらず、安全帯の着用状況は不明とのこと。命には別状なし。	31	80209	1~9
7	11~12	装置メンテナンス中、他社作業員が装置横通路で床（グレーチング）を開口し作業をしていた。装置隙間から装置外へでて曲がり何歩か歩いた時、床（グレーチング）が開口しているのに気付かず半身落下した。落下した際に右足が梁の様なものに接触、左足が宙に浮いた状態で上半身が左に傾き床（グレーチング）開口部の角に左脇と左ひざを打ちつけた。	45	80204	100 ~ 299
7	18~19	新築現場2階にて防水シートを運搬中に蜂に追われたため回避しようとした際に吹き抜け部から転落した。	19	30209	10~ 29
7	4~5	下水道工場の現場において、生コンクリート車をバックにて誘導中、円型ケーシング立杭（φ1,590×2.5m）に足を踏み外し転落した。それにより右足のくるぶしを骨折した。原因としては、当箇所は道路幅が狭く、生コンクリート車の左右の安全確認を優先したため、背後の確認を怠ったため発生したものと思われる。	60	170201	10~ 29
7	14~15	厨房内で溝の清掃中、ふたを開けたままにしており、それに気づかず、溝に落ちてしまった。	54	80209	10~ 29
7	17~18	会社敷地内駐車場から下車する際に誤って、本人が転落したものである（転落高さ1.5m）。	58	40301	10~ 29
7	20~21	勤務先マンションの地下ピット下水升（開口部45cm角、深さ150cm位）に頭から落下して死亡していた。現場の状況から、蚊の発生を防ぐため殺虫剤を下水升に使用中に落下した可能性があるが、現時点で死因は判明していない（警察からの報告）。	75	80409	300 ~ 499
7	14~15	建設中の新築住宅建物2階部分で、建物の内側から壁にウレタン断熱吹付工事をしていた。ウレタンが飛び散って周りを汚さないように養生シートが何か所も張ってあり、2階の床のない部分にも養生シートを張ってい	33	30202	1~9

		る場所があった。移動時にその床のない養生シートだけの所へ足を踏み入れ、約3m下に落下し負傷した。			
7	11～ 12	新築工事現場にて、外部足場の上で折板を伏せる作業中、足場板があったため移動しようと、梁に足を掛けようとして踏み外し、3.4m下の土間碎石に落下した。他に作業者が2人おり、落下の瞬間を直接は見ていなかったが、梁に掴まり落ちるところを見た。原因は、足場上の作業にもかかわらず、安全帯未着用であったこと、梁下に水平ネットがなかったこと、高齢者を高所作業に従事させる等安全対策への意識不足にある。	69	30201	1～9
7	20～ 21	夜間、ダンプのバック誘導時に、後ろに穴があることに気付かずに落下した。	50	40301	1～9
7	13～ 14	2階建木造住宅の解体作業中、2階で片付けをしていたとき、床の座を踏み抜いて、1階地面に落下し負傷した。	58	30202	50～ 99
7	13～ 14	朝、在来船（鋼材船）作業のため、事務所を出発した。昼にコンテナ船作業に従事し、その後、コンテナ船1番ハッチ上の20フィートコンテナ3本のうち、2本を揚げ終えたところで、ハッチ蓋上にあるスタッカーの位置を手直しするため、ハッチ蓋上に上り、手直し後に降りようと振り返ったとき、足元にあったターンバックルに躓き、甲板上に落下した。	64	40301	50～ 99
9	13～ 14	現場は山肌であり、排水路管を移設する作業であった。作業員2名で管の撤去を行う前で前後に並んで会話をしながら、山肌を歩いていると被災者の会話が急にとぎれ、一緒にいた作業員が付近を探したところ、山肌に直径60～80cm位であろうと思われる穴を発見し、その穴をのぞいたところ被災者が落ちていて、あおむけの状態での発見した。落下深さはおおむね5～8mぐらいあると思われる。	25	30199	1～9
9	16～ 17	仮設プラットホームとトラック荷台横の間に渡り板を置いていたが、プラットホームとトラック荷台をまたいで足を置いて荷卸しをしていた時、足元を滑らせ落下した。落下中にプラットホーム下部の鉄パイプ留め金に右ひざを打ち、その後、地面へ落下し負傷したものである。	29	40301	10～ 29
		整備工場の自動火災報知設備、定温式スポット型感知器の点検作業中、			

9	12～ 13	消火栓ポンプ室に入室した時、別の作業員が屋内消火栓を点検中、用がありポンプ室を離れるにあたり、転落防止及び注意喚起のため、ポンプ室の入口に蓋を立て掛けて退室、その後に水槽の口が開いているのに気づかず、天井を見ながら、点検移動した所、床下水槽（深さ1m10cm位）に落下、左足の腿を水槽の円蓋枠（直径60cm位）で打撲負傷した。	24	30302	1～9
9	10～ 11	リフォーム工事に於いて、ステップ足場を移動中、空中で足場を踏み外して手をついた際に、左手、左腕、両ヒザを傷めた。	50	30202	1～9
9	15～ 16	上記日時、2階でウレタンを削る作業中、周囲を確認せず移動した際に足元のユニット開口部に気付かず、開口部から1階天井組まで右肩から落ちた後、天井組から1階床に落下し（2階開口部から1階まで2m50cm程度）、肩と首を打撲、右目まぶたが腫れる怪我を負ったものである。	35	30201	10～ 29
9	16～ 17	解体工事現場にて、2階で内装解体作業をしていた際に床の突起物につまずいて、バランスを崩し、開口部の高さ3.5m位のところより転落し、右手首と左足を負傷した。	31	30209	50～ 99
10	16～ 17	被災者は自社倉庫で、祭りへ貸し出す屏風を取りに、梯子で収納場所へ上った。収納箇所は床から3m程度の高さの中2階で、フォークリフトで品物を出し入れするため、手摺は前面ではなく、端にある。作業後、安全を考え、梯子を手摺のある端の方に動かすために、梯子の上部を掴もうと屈んだところ、梯子の長さが収納箇所の高さと同程度だったため、前方向にバランスを崩して転落し、後頭部、背中、肩を強打した。	69	80409	—
10	15～ 16	出向先である店の店舗内排水処理場にて、排水処理（ポンプを動かすためスイッチを入れる作業）を行うため、排水処理場手前の高さ1.5mの所から高さ50cmの所へ一旦下り、更に50cm下に下りる際、壁面の排水管に手をかけたところ、排水管が破損したため落下し、頭部と左膝を強打し負傷した。	65	140309	30～ 49
	11～	鉄骨造2階建て、児童福祉施設の建設工事現場で、2階梁の上に仮置きされた鉄骨胴縁材の仕分け作業中に、被災者が一番上に重ねられた胴縁材を手前にずらした際、材料が滑り落下した。滑り落ちた胴縁材に付いて			10～

10	12	いた取り付け用アングルが、被災者の足首に引っ掛かり、バランスを崩した被災者自身も、1階床面（約3.3m下）へ背中から落下した。この時被災者は安全帯を使用していなかった。	28	30201	29
10	9～ 10	一般廃棄物処理施設建屋4階にて溶接作業中、道具を取りに行こうと通行し、床面ダクト貫通部のダクトが外れたことにより、開口部となっていた直径約60cmの穴から3階へ転落し（高さ3.9m）全身を強打した。開口部は立札により表示されていた。	38	30302	1～9
10	10～ 11	撤去工事現場にて鉄塔及び局舎の解体を開始し、作業開始1時間後に1回目の休憩を実施した。休憩中に音がしたので、現場に行くと被災者が倒れており、解体建屋の屋上より転落したと思われる。	63	30309	1～9
10	13～ 14	当社発注の休耕田の草刈り作業中、田周辺での作業中、足を滑らせ約1.5米下の民家敷地内に落ちた際、腰部に痛みが出たもの。	36	30199	1～9
10	15～ 16	タイヤ保管場所において、積み上げたタイヤに登り、車検用タイヤを検票していた。バランスを崩し、約1.5mの高さから下に置いてあったホイール上に落下し、背中を強打した。	66	11701	10～ 29
10	14～ 15	車道にて農業集落排水管路のマンホール内の点検作業中、足元を確認せず、すでに開いているマンホールに右足落下し左足に負担がかかり、左足首を負傷した。	33	150109	10～ 29
11	15～ 16	配水地流入管ほか整備工事現場で、管布設作業中、掘削完了部分の転落危険箇所にバックホウを配置し、通行できないように対策していたが、わずかな隙間（30cm程度）を横断して渡ろうとして、その際に右手に持っていた工具箱がバックホウのキャタピラに当たり、バランスを崩し落下しそうになったので、かけてあった水圧サポートを踏み台にして反対側に飛び渡ろうとしたが足を滑らせ、深さ1.8m程の掘削床に転落した。その際に左足太股に負荷がかかり受傷した。	63	30110	1～9
11	18～ 19	厨房内で他の従業員がグリストラップの清掃をしている時に、壁にあったホワイトボードを清掃しようとした時にグリストラップに落ちてし	69	80409	1～9

		まった。左脛の真ん中と左手中指に打撲を負った。			
11	10~ 11	10Fロングスパン前ステージと躯体との隙間で、2F~11F階段手摺りの搬入中、W600・H1200の階段手摺りを持って、2F~11Fの手摺り取り付けのために、元々取り付けであった仮設渡りを外していた。渡りを外した箇所に左足を落とし、裂傷した。	46	30209	50~ 99
11	11~ 12	木造平屋住宅、ロフト床施行（3m）、1F床に落下。ロフト床施行中に、高さ約3mのロフト床の上端部から落下した。	24	30202	1~9
11	9~ 10	大工工事中、2Fより降りようとしたが、仮はしごが通常と反対側に移されていたため、元の位置に戻そうとしたところ転落し、頭部及び胸椎を骨折した。	67	30202	1~9
11	9~ 10	採苗場で上に張っているネットを棒を使って移動させていた時に、ネットが引っ掛かり、気をとられて、海水タンク清掃のため開けていた直径1mの入口に足を踏み外して転落し高さ2m50cmの床に落ちた。	38	10209	30~ 49
12	14~15	住宅新築工事の現場において木材取り付け作業中、2階からはしごを寄せる時、バランスをくずし転落し、右足首を骨折した。	44	30202	1~9
12	0~1	コンクリートの養生状況を1人で確認中に張出足場上の開口部から落下したものと推測される。墜落の原因としては、張出足場を覗きこんだ時に強風でシートが巻きあがり、つられて足場上に落ちたが、落ちた場所が開口部であったこと、また、高欄鉄筋をまたいで足場上に渡った場所が開口部であったことが考えられる。なお、夜の時間帯で周りは暗く、照明の陰になり足元が十分確認できない状況であった。	58	30105	10~ 29
12	9~10	2階廊下アスロック上にて、外壁調整上部補佐作業に於いて（下に1名の計2名）、外壁パネル上部を調整中、横に移動した際に、被災箇所（足場板2枚仮置・開口部水平ネットなし）足場板2枚仮置きの際間より、1階廊下土間上に転落した。	77	30201	1~9
12	10~11	工場空調機跡のステージ上にて、新規に設置した放送設備のスピーカーの写真を撮ろうとして、スピーカーの方を向きながら斜め右方向へ移動	46	11702	300 ~

		をしていて、ステージから足を踏み外し、ステージの骨組みであるH鋼に左側第10肋骨を当て骨折した。その骨折により腎臓を圧迫損した。			499
12	10~11	当社内事務所において、年末の大掃除を行っている時、ほうきを使い壁面のくもの巣払いをしていたところ、玄関階段部分（全6段）で足をふみ外し転んでしまい、下までころげ落ちてしまった。	69	70101	50~99
12	10~11	鉄筋5階建新築工事で、5階型枠解体中、5階床から4階に通じる吹き抜けスラブ面より2.4m下の4階のスラブ面に足を踏み外して、左側肩より落下し、左側鎖骨及び肋骨6本を骨折した。（本人は事故前後の記憶がないと証言している。）	68	30201	1~9
12	14~15	バス室内の後床板シール塗布後、シールガンを置き場（左斜め前）に戻そうと、左足を引き、前に進んだ際、左側床のトイレ穴に左足が落ち、受傷した。作業ルール上、トイレ穴には仮フタを置くことになっていたが、守られていなかった。	30	170101	1~9
12	15~16	倉庫新築工事のうち、外構工事の現場にて、1.5mある穴の底面の大きさを測定しようと思い、地上から降りるときに足を滑らせ落下し、その際にU字溝のへりに右脇腹を打ち、骨折した。	62	30199	10~29
12	16~17	解体・更新工事で、機械を設置するために高さ3200mmのステージ上に確認に行き、マシーンハッチ（開口部1000mm×1000mm）から誤って転落し、コンクリート床に全身を強打して負傷し、ドクターヘリにて病院に搬送された。	42	30203	1~9
12	14~15	物流施設内の製品養生場所（地上から1.2m位の位置にあるホーム）で、製品の積み込み作業をしている際、荷崩れ防止のためにストレッチフィルムを巻いていたとき、誤って足が滑り、落下して負傷した。	32	40301	30~49
12	10~11	漬け込み作業場A棟で、地下タンクの中の大根に塩を振っていたところ、足が滑って隣の地下タンクに落下し、左足を負傷した。	49	10103	50~99

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html